

8月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 6件

(内訳)

No.1 市庁舎トイレ改修ほか工事について	…1件
No.2 大規模改修事業費(中学校)、受入校その他施設整備費(中学校給食)について	…2件
No.3 四日市市犯罪被害者等支援条例の制定について	…3件
No.4 四日市市霊園条例の一部改正について	…0件
No.5 ブロック塀等安全対策事業費について	…0件

今回ご意見をいただいた人数 6人

*一人あたりのご意見件数

5件の議案にご意見をいただいた方	: 0人
4件の議案にご意見をいただいた方	: 0人
3件の議案にご意見をいただいた方	: 0人
2件の議案にご意見をいただいた方	: 0人
1件の議案にご意見をいただいた方	: 6人

内訳:	10歳代	0人
	20歳代	0人
	30歳代	0人
	40歳代	0人
	50歳代	0人
	60歳代	1人
	70歳以上	5人

8月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.1		市庁舎トイレ改修ほか工事について
総務常任委員会	1	<p>1～3階迄のトイレに関しては、議会事務局から事前に伺いました通り、多目的トイレが設置されることでよいと思います。しかし、11階には市議会会議室があります。一般の方も傍聴にお見えになりますし、中には車椅子の傍聴者もあることを考慮して、この際是非に多目的トイレを設けていただきたい。(70歳以上、男性)</p>

8月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.2 大規模改修事業費(中学校)、受入校その他施設整備費(中学校給食)について	
1	<p>朝明中学校大規模改修が実現出来る事を大変嬉しく思う。 私は朝明中学校の大矢知地区への新築移転に反対し署名運動を八郷地区連合会長の時しました本人ですが、その内で体育館への階段は渡り廊下で無くなりますが、教室二階からですので、同じ様に二階への階段が解消されませんので、車椅子使用の事は同じに思います。 又、駐輪場の増設はありますが、駐車場の増設が有りません。この際は是非駐車場の増設をお願いしたい。(70歳以上)</p>
2	<p>朝明中学校大規模改修等工事及び施設課題改善整備事業について 朝明中学校大規模改修等工事について、朝明中学校卒業生として又大矢知在住の一住民として今後の大規模改修事業について意見を述べさせていただきます。 今後の事業は長年の懸案事業であり反対する意思は全くありません。ただ、朝明中学校の課題がこれですべて解決されたわけではありません。私は大矢知在住の住民として自転車通学の生徒が気がかりでなりません。大矢知地区の生徒はほとんどが自転車通学と聞いております。これだけ大勢の生徒が利用しているにもかかわらず、通学路は従来そのままほとんど改善されておられません。特に、朝の通勤通学時における混雑は大変なもので、いつ事故が起きても不思議ではありません。事故が起きてからでは遅いのです。安全な通学路確保も重要な課題であると考えます。(70歳以上、男性)</p>

教育民生常任委員会

8月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.3		四日市市犯罪被害者等支援条例の制定について
産業生活常任委員会	1	<p>犯罪被害者支援条例の制定について 昨今の世の中、多くの犯罪が起こり被害者が出ています。 被害に遭われた方々はお気の毒で同情します。ですが、マスコミ等で報道されると犯人と同等に世間にさらされます。支援を受けることで被害者の方が又興味の方にさらされない様に配慮してあげればと思います。でも、犯罪被害者支援条例は必要だと思います。(70歳以上、男性)</p>
	2	<p>1. 充実した施行規則の作成、各種広報を通じて市民への条例内容の周知を図ることが大切だと思います。 2. 四日市市地域防犯協議会(市地域防犯活動支援事業補助金交付制度)があります。登録団体が39(川島地区 16)です。連合自治会等 関係機関へ働きかけ登録団体を増やす努力が必要だと思います。市民参加の自主防犯活動の活性化により、地域コミュニティーの向上も期待できると思います。(70歳以上、男性)</p>
	3	<p>当案件について十分な知識・理解がないことで見当違いな意見になるかもしれませんが、「上記のうち特定犯罪被害者及びその遺族」に対して、支援金の支給は必要か？日本船舶、日本航空機内の犯罪で被害を受ければ、保険や、日本船舶・航空機会社から見舞金や慰謝料、補償金など出る可能性が十分に考えられ、これに三重県からの支援金を出せば十分ではないかと考えます。 四日市市として追加に支援するならば、“日常生活の支援・住居の安定に向けた支援”を予定の支援金を投入して、一層充実した内容にする方が被害者および遺族にとって有効ではないか、また、四日市市の独自性を示すにも良いのではないかと考えます。 「犯罪被害者等」に対する支援について、軽犯罪に対しては問題ないが重大な犯罪に対しては不十分ではないかと考えます。(60歳代、男性)</p>